

創る、巡る、贈る



福島県大熊町

広報おおくま

2025

12
No.641



— 今月の表紙 —

ふるさとまつり 2025
(掲載記事 2 ページ)

特集 / ふるさとまつり 2025

まちの話題 4 ページ | お知らせ 12 ページ | すこやかライフ 20 ページ | 町民掲示板 24 ページ



大熊町写真館



ステージイベントは、子どもたちに人気の戦隊ショーではじまり、町の伝統芸能である「相馬流れ山踊り」が披露されました。続いて、演歌歌手の大江裕さんによる歌謡ショーや、ものまね

タレント・ミラクルひかるさんのステージが観客を楽しませました。また、町出身で

現在は大阪を拠点に活動するシンガーソングライター・Enishi さんが、ふるさとへの思いを込めたオリジナル楽曲「追憶」やサンボマスターさんの「I love you & I need you ふくしま」を披露し、会場を温かい拍手が包みました。

まつりの目玉として行われたのは、「同時にフルーツをスプーンですくった人数」のギネス世界記録挑戦です。町内産のキウイフルーツ・紅妃を使い、356 人が一斉にスプーンですくい上げ、見事に世界記録を樹立しました。この挑戦は、町民有志らによる団体「キウイ再生クラブ」と、地元のキウイ栽培・販売会社「ReFruits」の協力で実現したものです。

ギネスの記録樹立に大熊町観光協会長の吉田淳町長は「356 人の参加者と、記録達成を見守る方々のご協力のもとギネス記録の達成ができました。万歳！」と感謝の言葉を述べました。



ギネス世界記録にも
挑戦し世界一に
なりました



駅西交流エリアで初の



駅西交流エリアで 11 月 1 日、グランドオープン後初となる「ふるさとまつり」が開催され、約 1,800 人の来場者でにぎわいました。開催前日と当日の早朝にかけて暴風が発生したため、飲食や物販、展示などのブースは安全面から中止となりましたが、ステージイベントやキッチンカー、車両展示、ギネス世界記録挑戦などが実施されました。オープニングセレモニーでは、学び舎ゆめの森の児童たちがテープカットを行い、元気な声でまつりの幕開けを飾りました。





駅と国道をつなぐ主要施設の整備着手

大熊町西大和久地区整地工事安全祈願祭

大川原地区、下野上地区に続く3番目の拠点整備として、10月7日、大熊町西大和久地区整備工事の安全祈願祭が執り行われました。



工事の安全を願い、あいさつする吉田町長

神事には、町関係者や地権者、UR都市機構、施工者である青木あすなろ建設の関係者らが出席し、工事の安全を祈願しました。

吉田淳町長は「多くの方にとって新たな生活の場やビジネスの拠点、そして絆づくりを深める場となるよう、良いものにしていきたい」と意気込みを述べました。

本整地工事は令和9年の完了を予定しており、その後、防災広場を兼ねたパークゴルフ場の整備や、研究施設・商業施設の誘致を進める計画です。

投打ともに好調も初戦惜敗 市町村対抗ソフトボール大会 2025

福島民報社主催の市町村対抗ソフトボール大会が10月6日から開催されました。大熊町代表チームは、10月7日に相馬市の光陽ソフトボール場で須賀川市代表と対戦しました。

序盤の4回までに5点を奪われたものの、5回を無失点で抑え反撃の体制に入った大熊町チーム。6回には、4番・長谷川選手の気迫あふれるクロスプレーなどで2点を挙げ、反撃のきっかけをつかみました。

しかし、その後はランナーを残しながらも得点にはつながらず、最終的に2対8で惜しくも初戦敗退となりました。

たくさんのご声援、ありがとうございました。



1



2



3



4

1 町代表として奮闘した選手ら 2、3、4 白熱のプレーを見せた選手ら

戦後 80 年を悼む 令和7年度大熊町戦没者追悼式・慰霊祭

令和7年度大熊町戦没者追悼式・慰霊祭が10月10日、町交流施設「linkる大熊」で執り行われ、町遺族会や関係者らが参列しました。

追悼式では、吉田淳町長が「私たちが安心して生活できるのは、尊い犠牲の上に築かれたものです。町民の心を大切に、平和で明るい町を築くために一層努力をまいります」と式辞を述べ、参列者が献花を行いました。

続いて行われた慰霊祭では、町遺族会の木幡恵明会長が自身の体験を交えながら祭文を読み上げました。参列者は焼香を行い、戦没者の冥福を祈りました。

今回の追悼式・慰霊祭では、一般参観も実施されました。



献花する吉田町長

悪天候も会場にぎわう ふたばワールド川内で開催



開会の祝いを述べた吉田町長

後はお笑いステージや有名歌手によるスペシャルライブなどで会場は大いに盛り上がりました。

飲食ブースには、各町村で生産された日本酒の紹介・試飲コーナーが設けられ、町の特産品である日本酒「帰忘郷」のほか、酒米「神力(しんりき)」で醸した「葉芹川(はぜりがわ)」も提供されました。来場者たちは、それぞれの酒の味わいの違いを楽しみました。

双葉郡の8町村が合同で開催するイベント「ふたばワールド 2025」が、10月14日、川内村の田ノ入工業団地で開かれました。

あいにくの悪天候の中、約3,000人の来場者が訪れ、郡内の食や伝統芸能を楽しみました。

ステージでは、双葉郡町村会長を務める吉田淳大熊町長が開会のあいさつを行い、その

バイオ燃料車が試走 次世代グリーン CO₂ 燃料技術研究組合

大川原地区の西工業団地に立地する「次世代グリーン CO₂ 燃料技術研究組合」で10月13日、同工場で生産したバイオマス燃料を給油した車両の試走式が行われました。

テストには、組合に加盟するトヨタ自動車、SUBARU、スズキ、マツダの4社が参加。トヨタ車には10%、その他の車両および二輪車には3%のバイオマス燃料が使用されました。テスト車両は西工業団地から大熊町役場や道の駅なみえを経由して、道の駅ふくしままでの約100kmを走行しました。



試走を記念し行われたテープカット

ありがとうございます 野上地区コメ寄贈



町内産天のつぶを手渡した榎本代表(右)

J A アグリサポートふたばの榎本宏代表が生産者らとともに野上地区で生産されたコメ「天のつぶ」170kgを町に寄贈しました。

野上地区(特定復興再生拠点)で生産されたコメの出荷は今回が初めてとなります。初出荷を記念して町への寄贈が行われました。

榎本代表は「大熊の拠点内で初めて生産された『天のつぶ』です。安心で安全なコメができました」と話しました。

吉田淳町長は「コメの価値が上がっている大変な時期に、町内産のコメが収穫できたことを大変うれしく思います。貴重なおコメを有効に活用させていただきたい」と感謝の言葉を述べました。

寄贈されたコメは、学び舎ゆめの森に通う子どもたちの希望世帯に配布されました。

認定こども園で生活発表会 歌や劇で日ごろの成果を披露

認定子ども園学び舎ゆめの森で 10 月 24 日、令和 7 年度生活発表会が開かれました。園児たちは、日ごろの生活の様子や練習を重ねた劇、歌などを、保護者や地域の人たちに元気いっぱい披露しました。

発表は年齢ごとのクラスに分かれて行われ、もも組・りんご組・なし組合同での合奏を皮切りに、0・1 歳児は手遊びやリズム遊びを見せ、2 歳児はダンスを披露。年少・年中・年長の子どもたちは、物語をもとにした劇や合唱を発表し、練習の成果を堂々と見せました。

会場には多くの保護者が訪れ、ステージで懸

念に演じる子どもたちに大きな拍手が送られました。



オープニングで歌と演奏を披露した園児ら

住民目線で町の魅力を出し合う 移住定住ブランド検討ワークショップ



町の「魅力」を出し合った参加者ら

町民の帰還や移住定住を推進するため「こうあってほしい」「こうありたい」という町のイメージを考えるブランド検討ワークショップが 10 月 25 日、CREVA おおくまで開かれました。

町内居住者や仕事で町との関わりを持つ方などが参加しました。

8 月に 274 件の応募から決定した「育つまちで、育っていく。」のキャッチコピーを念頭に、町の魅力や強みを参加者らで出し合い、町のブランドのタネを作りました。

ありがとうございます

企業版ふるさと納税(地方創成応援税制)第1号の贈呈式

町は、10月1日から企業版ふるさと納税(地方創成応援税制)の受け付けを開始しました。

あぶくま信用金庫さまから100万円のご寄付の申し出をいただき、16日に第1号を記念して贈呈式を開催しました。

式では太田福裕理事長から吉田淳町長に目録が手渡され、吉田町長からは感謝状が贈呈されました。

太田理事長は「人の流れや魅力的な環境をつくることに寄与したい」とあいさつ。

吉田町長は「確実な町の発展につながるよう誠心誠意活用します」と謝辞を述べました。

企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。



吉田町長に目録を手渡した太田理事長(左)

地域の教育と新しい学校づくりの充実へ

東京学芸大学と大熊町が連携協定を締結



協定書を交わした国仙副学長(左から2人目)と吉田町長

10月23日、大熊町と東京学芸大学との間で、地域の教育充実と新しい学校づくりの推進を目的とした連携協定の締結式が行われました。

この協定は、大学と町の双方が持つ資源を有

効に活用し、教育の質の向上と地域の発展に寄与することを目的としています。また、東京学芸大学が進める「教育ウェルビーイング研究開発プロジェクト」の効果を学術的に検証するため、7つの項目を連携事項として定めています。

「ウェルビーイング」とは、幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることを指します。

締結式には、吉田淳町長、佐藤由弘教育長をはじめとする町関係者、国仙久雄副学長をはじめとする大学関係者が出席しました。出席者は、協定を通じて教育の充実と新たな学びの場づくりを進めていく決意を新たにしました。

教育委員辞令交付 渡部達也さんが再任

町教育委員に渡部達也さんが任命されました。

10月24日、町役場で吉田淳町長から渡部さんに辞令書が手渡されました。任期は令和9年9月までです。

渡部さんは「微力ながら引き続き頑張らせていただきます」と意気込みを述べました。



辞令書を手渡された渡部委員

自助・共助の大切さ学ぶ おおがわら会防災ワークショップ

大川原地区の住民を中心としたコミュニティおおがわら会で10月25日、防災ワークショップが行われ、約25人が参加しました。

町環境対策課と福島大地域未来デザインセンターの協力。

町環境対策課から、阪神淡路大震災の被災データからみられる自助・共助の重要性を示す講話が行われました。

参加者らは5班に分かれ、大川原災害公営住宅や学び舎ゆめの森周辺の危険箇所や避難時の注意事項を確認。

それぞれの班で確認した危険箇所や対策方法等を共有し地図上に示しました。

今回のワークショップでポイントを整理した地図は、各班の情報をまとめたのち、大川原地区内に住む住人に配布される予定です。



備蓄品の使用方法を確認する参加者ら

木材の積極的な活用が認められる

木材推進コンクール国土交通大臣賞受賞



記念撮影に納まった吉田町長(左から5人目)と設計・施工業者ら

木材利用の促進と需要拡大を目的に、優れた木材利用作品や国産材の活用に取り組む企業・団体を表彰する「木材推進コンクール」で、町内の複合施設「CREVAおおくま」が国土交通大臣賞を受賞しました。

授賞式は10月28日、東京都内の木材会館で行われ、吉田淳町長が賞状を受け取りました。

同コンクールは「優良施設部門」と「国産材利用推進部門」に分かれており、CREVAおおくまは優良施設部門での受賞です。施設中央の共用スペースに県産木材と鉄骨を組み合わせ、誰もが自分の居場所として心地よく過ごせる温かみのあるデザインが高く評価されました。

このほか、特賞として全国から14点の施設が選ばれました。

今年もたくさんの作品が並びました

令和7年度町文化展

令和7年度町文化展が町役場ホールで、10月28日から11月1日まで開催されました。

町内外125人の156作品が展示され、249人が来場し、色とりどりの作品を鑑賞しました。

書や写真、絵画のほか、学び舎ゆめの森の児童生徒の作品も並びました。



作品を眺める来場者ら

町発展への尽力をたたえる 令和7年度町表彰式

令和7年度の町表彰式が、文化の日である11月3日に町役場で行われ、受賞者の皆さんを祝いました。

式では、佐久間住夫さんが功労章を受章されました。また、消防団員として25年にわたり地域に貢献された志賀基広さんと志賀平さんに、永年勤続章が贈られました。

吉田淳町長は、町の発展のために尽力された受賞者の功績をたたえるとともに、山積する町の課題への協力に対して、感謝の思いを伝えました。

出席した受賞者らは、一人一人吉田町長から賞状と記念品を受け取り、参加者たちから温かい拍手で祝福されました。



記念撮影に納まる出席受賞者ら(前列中央2人)

大川原に実る秋の味覚 町農業委員会が稲刈りを実施

10月2日、大川原地区で町農業委員会による水稻の稲刈りが行われました。今年は約500kgのコシヒカリが収穫され、秋の実りの季節を感じるひとときとなりました。

町農業委員会では、これまで特定復興再生拠点内で水稻の実証栽培を行ってきましたが、同



刈りたての稲を持つ根本会長

区域が水稻の出荷制限が解除された「全量生産出荷管理区域」へ移行したことに伴い、実証栽培は終了しました。

それでも、「大熊町のコメを町民の皆さんに味わってもらいたい」という思いから、出荷制限がすでに解除されている大川原地区でコシヒカリの栽培を続けてきました。

根本友子農業委員長は、「今年も良いコメが実りました。町の皆さんに、ふるさとのコメの味を知ってもらいたいです」と話しました。

収穫したコメは、11月1日の「ふるさとまつり」での配布を予定していましたが、強風の影響によりブース出展が中止となったため、12月1日から農業振興課、各出張所・連絡事務所で配布をします。

3月に咲く種託す 福島・沖縄絆ひまわりプロジェクト

東日本大震災・原発事故による全町避難後から交流の続いているヒマワリプロジェクトの種贈呈式が、10月2日に町役場で行われました。

今回も沖縄県北中城村から、福島・沖縄絆ひまわりプロジェクトの鈴木伸章副理事が来町し、今夏町内で花を咲かせたヒマワリの種を、大熊町ヒマワリプロジェクトのメンバーが手渡しました。

鈴木副理事に手渡された種は、来年の3月に開花するよう沖縄県糸満市の平和祈念公園にまかれる予定です。



ヒマワリの種を受け取った鈴木副理事(右から3人目)



移住に関する
情報



まちづくり公社
に関する情報

復興支援員のぞいてみよう!



vol.3

コミュニティ再構築や町内住民の見守り・ケア、地域活性化支援などを通して、東日本大震災からの復興を手伝ってくれている復興支援員。そんな支援員の日々の業務をちょっとのぞいてみませんか？今回は常世田隆さん、佐々田あきらさんをご紹介します。



常世田 隆

【受け入れ企業】

サンアメニティlinkる大熊

【担当】

交流・関係人口拡大のための情報発信&イベント企画

YouTube



大熊町交流ゾーン

Instagram



linkる大熊 総合案内



動画の撮影をする常世田さん(左)

【活動内容】

大熊町交流ゾーン指定管理者のサンアメニティで、交流・関係人口の拡大に向けた情報発信とイベント等の企画を担当しています。特に決まったデスクは持たず、状況に応じて仕事場をlinkる大熊／CREVAおおくま／在宅で使い分けるようにしています。

Instagram アカUNT「linkる大熊総合案内」には休まず毎日さまざまな情報を投稿しています。また、町内の主要イベントを動画に撮って編集し、YouTube チャンネル「大熊町交流ゾーン」にUP しています。



佐々田 享

【受け入れ企業】

大成住設
(community kitchen
090・090 菓子店)

【担当】

特産品・地場産品開発の支援(お土産開発等)

公式Instagram：
090菓子店



お土産のお菓子作りをする佐々田さん

【活動内容】

090 菓子店(communitY kitchen 090) で大熊町産のお土産開発のサポートをしています。最近ではイベント出店を通じて少しずつ地域の皆さまからお声をかけていただけるようになりました。体に優しく、食べた方が笑顔になれるよう日々試行錯誤を重ねています。「大熊町のお土産といえば 090 菓子店のお菓子!」と言っていただけよう、町の皆さんの声をヒントにしながら、商品づくりに励んでいます。



OIC

OKUMA
INCUBATION
CENTER

大熊インキュベーションセンター



全文はこちらから

入居者紹介 OIC ってどんなところ？利用者インタビュー

2022年7月に開所した大熊インキュベーションセンター(OIC)には、現在120社以上の企業が入居しています。大企業から起業準備中の大学生までが入居し、業界・業種もさまざま。毎日にぎわっているOICの魅力をお伝えするため、OIC広報担当が公式HP「OIC入居者紹介」の中から「どのような企業が利用しているのか」「どのような人と会えるのか」などをご紹介します。

haccoba(ハッコウバ)

今回は、入居企業インタビュー第55社目として、haccobaをご紹介します。代表取締役の佐藤太亮さんにお話を伺いました。

haccobaは、南相馬市小高区と浪江町の2か所に拠点を構え、「クラフトサケ」という新しいジャンルのお酒を製造しているスタートアップ企業です。2021年2月に「酒づくりをもっと自由に」という思いのもと創業し、約4年半で90種類以上のクラフトサケを製造してきました。今後は、東京やベルギーへの醸造所展開も予定しています。

看板商品である「はなうたホップス」は、ビールで使われるホップをお米と一緒に発酵させて造る、ユニークなお酒です。柑橘のような爽やかな香りとジューシーな果実感が特徴で、多くの方に親しまれています。

haccobaでは酒造りにとどまらず、地域文化を盛り上げるための取り組みにも力を入れています。その一つが、JR東日本と連携して運営している「小高駅舎パブリックマーケット」です。震災後に無人駅となった小高駅の駅舎を再活用し、イベントやワークショップの開催、地元の土産品などを扱うマーケット機能、さらに日常的に地域の方々が集える公共空間としての役割も担っています。

佐藤さんは「震災の影響もあり、浜通りには酒蔵が少なくなりましたが、旧避難指示区域のこの一帯を“haccobaの地元”と捉え、自治体の枠を越えて文化をつくり、地域に深く関わっていきたくて考えています。大熊町の皆さんにも、私たちのお酒を“地酒”として愛していただけるよう頑張っていきます」と話してくれました。

店頭などでhaccobaのお酒を見かけた際は、ぜひ手に取ってみてください！



アトラックラボ

次にご紹介するのはアトラックラボです。代表の伊豆智幸さんにお話を伺いました。

アトラックラボは、自動車メーカーやゼネコン向けに陸・海・空すべてのフィールドで活躍する産業用ロボットを開発しています。工事現場で作業を行うフィールドロボットや点検用ドローン、測量用の無人ボートなどを手掛け、ハード・電子基板・ソフトウェアを一貫して開発できる点が強みです。お客様に合わせた実証試験(PoC)を得意とし、これまでにない道具をゼロから作り上げています。

これまで複数のドローンメーカーを立ち上げてきた伊豆さん。成功の秘訣は、「とにかくお客さんが喜ぶことや、問題を解決することに注力する」ことだといいます。近年は、山や砂浜を走行できるクローラー付き車いすなど、地域に役立つロボットの開発にも挑戦中です。社会課題の現場に寄り添う姿勢が印象的でした。

普段の生活について伺ったところ、仕事以外の時間では「YouTube」をよく利用しているとのこと。「やりたいこと・作りたいものができたとき、世界のどこかには同じことを行っている人がいる。自分の考えが正しいのか、どんな方法があるのかを知るのにちょうどいい」と語ります。

さらに、情報発信の面でもYouTubeは欠かせない存在だといいます。実際に大手企業からの依頼の多くはYouTube経由だそうです。ものづくりへのまっすぐな姿勢が印象に残るインタビューでした。



OICはどなたでも無料で利用できます。居合わせた人と話したり、本や新聞を読んだりすることができる交流スペースから、静かな場所で作業に集中したいときに利用できるコワーキングスペースまで、さまざまな部屋があります。ぜひお気軽にご来館ください！

大熊町からの

お知らせ



内容 日時 会場
対象 費用 持ち物
定員 申し込み方法
申し込み期限 問い合わせ先
電話番号 FAX ファクス
メールアドレス WEB ウェブサイト

募集・イベント



大熊町運動公園の
決定に係る住民説
明会を開催します



町は大熊町運動公園で富岡都市
計画公園の決定を予定しています。
新たに決定する都市計画案の内
容を皆さまにお知らせするため、
住民説明会を開催します。詳細は
同封の説明会資料をご確認ください。
い。

時12月14日(日)

午前10時～11時30分

場大熊町役場 1階多目的ホール

申不要。直接ご来場ください。

問復興事業課 都市計画係

02440(23)7068

再生賃貸住宅の入
居者を募集します



下野上地区の再生賃貸住宅の入
居者を募集します。入居を希望の
方は、入居申込書を提出してくだ
さい。

詳しくは町ホームページをご覧
になるか、生活支援課までお問い
合わせください。

■募集住宅

大野南再生賃貸住宅

(下野上字大野185-3)

2LDK・1戸

問生活支援課 生活支援係

02440(23)7444

令和8年度

学生募集のお知らせ



公立双葉看護学院は、令和8

年度の学生を募集します。

一緒に地域に寄り添う看護のプ
ロを目指しましょう！

■募集人員

30人

■修業年限

2年(全日制)

■受験料

1万円

■受験資格

中学校卒業以上の方(令和8年
3月卒業見込を含む・年齢不問)

■出願期間

令和8年1月6日(火)～23日

(金)必着

午前9時～午後4時30分(土・

日・祝日を除く)

■試験日

令和8年1月29日(木)

■試験科目

筆記試験(国語)、作文、面接

■出願先・問合せ

公立双葉看護学院

02444(32)0990

✉futajun-kango@aioros.

ocn.ne.jp

復興とSDGsを考
える県民シンポジウ
ムが開催されます



事例発表やトークセッションな
どを通してふくしまの未来を考え
る県民シンポジウムが開催されま
す。皆さまの参加をお待ちしてい
ます。

参加には事前申込が必要です。
定員になり次第、募集を締め切り
ます。

時12月7日(日) 午後1時～3時

場Jヴィレッジ コンベンション

ホール(桧葉町山田岡美シ森8)

費無料

定130人(オンライン配信あり)

申QRコードか電話(株式会社企

画室・コア)024(961)96

30)で

※オンライン配信の視聴は申し込
み不要です。

■その他

シンポジウムの前後1時間で、
SDGsの推進に向けた取り組み
の発表・展示を行います。

問福島県復興推進本部 統括班

024(521)7129

福島広域雇用促進支援協議会から

●行くしかない!!

働きたいネットの就職

面接会



【参加無料・履歴書不要・服装自由】

短時間でたくさんさんの企業の情報

収集ができる♪就活が一歩前進!

時 12月19日(金)

午後1時30分～3時

場 浪江町地域スポーツセンター

(浪江町権現堂字下馬洗田5-2)

■参加企業

相双地域等の企業28社

企業の詳細はホームページをご

覧ください。

申 電話、ホームページから予約ま

たは当日参加。予約がオススメで

す。詳細は「働きたいネット」で検

索!

※本面接会は「求職活動実績」にな

ります。雇用保険受給者の方には

参加証明書を発行します。

●働きたいネットの就

職応援マルシェ【出張

求職者カフェ】



【参加無料・予約不要】

ハローワーク富岡に求職者カフ

エがやってきます!就職活動に役

立つ支援が無料で受けられます。

ぜひお越しください。

時 12月17日(水)午前9時～正午

場 ハローワーク富岡 2階会議室

■支援メニュー

◎証明写真撮影(撮影希望の方は

スーツ等の着用がおすすめ!貸出

用ジャケット有)◎応募書類作成

◎面接対策◎適職診断 等

問 福島広域雇用促進支援協議会

福島統括窓口

☎ 024(524)2121

里がえりもちつき大会2026開催!



新年はみんなで餅をついて、双

葉郡でいちばんもちつきに情熱を

燃やすまち、おおくまのお正月を

お祝いしましょう!

時 令和8年1月10日(土)

場 大熊町役場前広場

内 もちつき、もちまき、おおくま

競輪など

※詳細はおおくままちづくり公社

のホームページをご確認ください。

問 おおくまコミュニティづくり実

行委員会事務局

☎ 090(2952)5939

大熊町いわき会



内 新年会

時 令和8年1月31日(土)

午前11時～

場 湯本温泉(吹の湯旅館)

(いわき市常磐湯本町吹谷48)

■送迎バス乗車場所

植田駅前(午前10時10分)

泉公民館入口(午前10時30分)

費 3000円

申 必要

定 30人

問 宮本明

☎ 090(5188)8163

おおがわら会



内 みんなでスノードームをつくら

う!

クリスマスに向けてみんなでス

ノードームを作りましょう。

時 12月14日(日)午前10時～

場 linkる大熊

費 高校生以上500円

小学生300円

未就学児無料

定 40人

申 必要

問 山本千代子

☎ 090(7072)6611

※平日の午前9時～午後5時

おおくまいわき友の会



内 温泉で交流会

時 12月18日(木)午前10時30分～

場 ホテル塩屋崎

(いわき市平豊間免渡路164)

費 2000円

(会食・ビンゴゲーム)

定 30人

申 必要

期 12月10日(水)

問 奥山和枝

☎ 090(5234)2467

問 伊東光子

☎ 090(3645)2765

大熊町山田会

内 新年会

時 令和8年1月25日(日)

午前10時～

場 渡辺宅

費 3000円

問 石田和枝

☎ 090(7326)7444



おおくま気楽会

内 クリスマスビンゴ大会

時 12月14日(日) 午前10時～

場 いわき市下矢田団地集会所

費 2500円

定 30人

問 菅野

☎ 080(5222)6014

問 吉田

☎ 080(6026)2870



大野南

コミュニティ会

内 大野南クリスマス会

コミュニティスペースのお掃除



の後、ピザやケーキをみんなで食べたり、ビンゴをしたりする予定です！

時 12月20日(土) 午後5時～

場 大野南コミュニティスペース

費 500円

問 事務局(阿部翔太郎)

☎ 090(7819)6933

おおくま中通り会

内 新年会

時 令和8年1月23日(金)

場 なりた温泉(郡山市安積町成田車川原27-27)

午前10時30分大熊町役場中通り連絡事務所集合

※詳細は1月号でお知らせします。

問 斎藤重征

☎ 090(8423)6515

問 鈴木久友

☎ 090(3368)8919



熊川区

内 令和7年度第3回熊川区パークゴルフ交流会

※終了後パークゴルフ場施設内で



懇談会を開催します。クラブを申し込む方は事前にお伝えください。

時 12月27日(土) 午前9時受け付け9時30分競技開始

場 広野町二ツ沼総合公園パークゴルフ場(広野町大字下北迫字大谷地原65-13)

費 500円(保険・プレー代)

期 12月20日(土)

問 宇佐見忠

☎ 090(8251)4667

問 鎌田恭行

☎ 090(7792)9119

おおくまPG協会

内 「会長杯大会」を開催します。大熊町民パークゴルフ愛好者の皆さま、多数のご参加お待ちしております。



時 令和8年1月17日(土) 小雨決行

午前8時30分受け付け

8時45分開会式

場 広野町二ツ沼総合公園パークゴルフ場(広野町大字下北迫字大谷地原65-13)

費 500円

※大会当日の納入をお願いします。

※昼食などは各自で用意ください。

期 令和8年1月6日(火)まで

問 佐藤秀一

☎ 080(6048)9938

問 新藤建次

☎ 090(5185)1245

問 鈴木文雄

☎ 080(3718)9793

補助・助成



生活応援物資を配布します



対象者や配達スケジュール、物資内容の情報は次のとおりです。

■対象者

基準日(令和7年9月1日)時点で、大熊町に住民登録がある世帯主

※昨年度まで対象世帯の避難先住所ごとに配布をしていましたが、今年度から対象世帯主ごとの配布に変更となりましたので、ご了承ください。

■配達スケジュール

12月1日(月)から14日(日)まで

に対象の皆さまに順次発送します。
※配達状況で、配達日が前後する
場合があります。

■物資内容

- ①会津産コシヒカリ新米 5kg 1袋
- ②大熊町産いちごセット1セット
- ③大熊町産帰忘郷あまざけ (350ml) 2本
- ④喜多方ラーメンセット (4食入) 1箱
- ⑤なみえ焼そば (2食入) 1袋
- ⑥小白井きゅうりの味噌漬け1袋
- ⑦食べるオリーブオイル 1瓶
- ⑧食べるラー油 1瓶

問 生活支援課 生活支援係

☎ 0240(23)7444

お願い



固定資産の所有者が
死亡した場合には手
続きが必要です



固定資産税は、土地や家屋など
の不動産に課される税金で、賦課
期日(毎年1月1日)現在の所有者

の方に課税されます。

土地・家屋(登記されている)の
所有者(納税義務者)が死亡した時
は、町の手続きとは別に、法務局
で土地・家屋の所有者を変更する
「相続登記」を行う義務が発生しま
す。

正当な理由なく義務に違反した
場合は10万円以下の過料の適用対
象となる場合があります。

大熊町に所在する不動産の相続
登記の続ききにつきましては、法
務局にご連絡ください。

問 福島県地方事務局 富岡出張所

☎ 0240(22)3052

介護保険事業計画に反映さ
せるためのアンケ
ート調査にご協力
ください



11月1日現在、65歳以上の皆
さまにアンケート調査を実施しま
す。

この調査は、令和8年度に策定
する「高齢者保健福祉計画・第10
期介護保険事業計画」に反映させ
るためのものです。

アンケートは3種類あり、い
ずれか1つがお手元に届きますので
回答のご協力をお願いします。

①高齢者在宅介護実態調査(要介
護1〜5の認定をお持ちで、在宅
で生活されている方)

②高齢者福祉と介護保険に関する
調査(介護保険の施設に入所され
ている方で、町に入所届出を提出
している方)

③高齢者在宅予防・日常生活二
ズ調査(65歳以上で、上記①②に
該当しない方)

■回答期限

12月10日(水)まで

問 福祉課 介護保険係

☎ 0240(23)7226

お知らせ



特設人権相談所を
開設します



大熊町人権擁護委員は、特設人
権相談所を開設して相談を受け付
けます。相談は無料で秘密は守ら
れます。人権に関する困りごとや

悩みごとなどお気軽にご相談くだ
さい。

時 12月4日(木)

午前10時〜午後3時

場 大熊町役場いわき出張所

電話相談は、随時行っています
のでご利用ください。

・みんなの人権110番

☎ 0570(003)110

・こどもの人権110番

☎ 0120(007)110

・女性の人権ホットライン

☎ 0570(070)810

※年末年始を除いた平日の午前8
時30分から午後5時15分まで

※インターネットでも人権相談を
受け付けています

問 住民税務課 住民係

☎ 0240(23)7146



大熊町職員給与を公表します

町民の皆さんに町政運営に関して一層のご理解をいただくため、町職員給与の詳細をお知らせします。

町職員の給与は、国の人事院や県人事委員会の給与勧告、他の地方公共団体の給与との均衡を考えながら、町議会の

審議を経て、条例で定められています。

なお、ここに用いている数値は、毎年4月1日現在の「地方公務員給与実態調査」「地方公共団体定員管理調査」および「当初予算書」などを基にしています。

(1)人件費の状況(2024年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (2025.3.31 現在)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)
9,909 人	千円 42,475,175	千円 334,739	千円 1,541,138	% 3.6

※人件費には、特別職に支給される給与などが含まれます。

(2)職員給与費の状況(2025年度一般会計当初予算)

職員数	給与費			
	給 料	職員手当	期 末・ 勤勉手当	計
145 人	千円 675,715	千円 182,605	千円 323,735	千円 1,182,055

※職員手当には、退職手当は含まれていません。職員とは、一般行政職、学校以外の教育関係職、幼稚園教諭、技能労務職です。

(3)職員の平均給料月額および平均年齢の状況(2025年4月1日)

区 分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	309,171 円	40.5 歳
技能労務職	260,100 円	32.1 歳

(4)職員の初任給の状況(2025年4月1日)

区 分		法定初任給	採用2年目 経過日給料
一 般 職	大学卒	230,300 円	237,600 円
	高校卒	198,000 円	209,500 円
技能労務職	高校卒	185,700 円	197,400 円

(5)職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(2025年4月1日)

経験年数	一般行政職	
	大学卒	高校卒
10年以上15年未満	299,200 円	267,700 円
15年以上20年未満	335,400 円	289,700 円
20年以上25年未満	362,200 円	326,000 円
25年以上30年未満	350,700 円	366,500 円
30年以上35年未満	424,000 円	389,400 円
35年以上	348,800 円	324,400 円

(7)特別職の報酬等の状況(2025年4月1日)

給料(報酬)月額					期末手当	
給 料	町 長	770,000 円	報 酬	議 長	291,000 円	支給割合 6月期 1.725 月分 12月期 1.725 月分 計 3.45 月分 ※計算の基礎となる額は給料・報酬月額に15%加算した額(12月期は予定)
	副町長	604,000 円		副議長	249,000 円	
	教育長	550,000 円		議 員	234,000 円	

(8)部門別職員数の状況(全職種、各年度4月1日、単位：人)

	一般行政								特別行政	公営企業等			計
	議会	総務	税務	民生	衛生	農水	商工	土木	教育	国保	介護	後期高齢	
2025	2	62	7	17	18	11	1	14	24	3	5	1	165
2024	2	61	7	14	19	8	1	14	22	3	5	1	157
増減	0	1	0	3	△1	3	0	0	2	0	0	0	8

問総務課 ☎ 0240(23)7568

■ 12月の通行止め箇所図



問 UR 都市機構 東北震災復興支援本部 大熊復興支援事務所
☎ 0246 (38) 8127
問 復興事業課 建設係
☎ 0240 (23) 7019

■变更点

時
12
月
21
日
(日)

■対象となる便

- ・大川原災害公営住宅↓大野駅西
 - (第2便から第6便まで)
 - ・大野駅西□↓大川原災害公営住宅(第1便から第5便まで)
 - ・大川原災害公営住宅↓富岡駅前
- (第1便から第4便まで)
- ・富岡駅前↓大川原災害公営住宅

ノルディック
ウォーキング

時
12
月
17
日
(水)

申事前にご連絡ください

いきいき百彩クラブ



内季節のお飾り作り

時
12
月
10
日
(水)

午前10時
～
11時30分

場保健センター

申12月5日(金)まで電話で

費材料費500円

定15人 対大熊町民の方

問健康保險課 保健衛生係

☎
0
2
4
0
23
7
4
1
9

保健センター 開放日



赤ちゃんから高齢者の方が集う場として、お気軽にお立ち寄りください。

時 12月25日(木)

令和8年1月28日(水)

午前9時～午後4時まで

場 大熊町保健センター

内 ◎移動図書／午前10時～正午

◎いちごカフェ／午後1時30分～3時30分

■特別企画

時 12月25日(木)

内 フリスマスお楽しみ企画

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

あなたの献血で救える命があります



次の日程で献血バスが町内を運行します。

時 12月17日(水)

■受付時間

午前9時30分～11時30分

午後1時～4時15分

場 大熊町役場

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

子育て



子育てひろば



① 内ベビーマッサージ、身長体重測定、個別相談

時 12月23日(火)

申 電話で1週間前までに

② 内自由遊び、身長体重測定、個別相談

時 令和8年1月13日(火)

申 電話で3日前までに

時 令和8年1月13日(火)

申 電話で3日前までに

〈共通〉

時 午前9時30分～11時30分

場 いわき出張所

定 親子5組

対 未就学児と保護者(祖父母も可)

持 飲み物、おむつ、バスタオル

※体重測定希望の方・おむつ交換の際は、ご自身でバスタオルをお持ちください。

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

消防署から

問 富岡消防署 予防係 ☎ 0240(22)2119

マイナ救急実証事業実施中

マイナ救急ではマイナンバーカードの健康保険証利用により、救急隊員が出動先でマイナ保険証を読み取り、過去の受診歴や処方された薬等の医療情報を把握することで、迅速な病院選定や病院での早期治療開始に繋げることが期待できることから、令和7年10月から実証事業を開始しました。

※本実証は総務省消防庁が全国の消防本部と連携して実施するものです。

① マイナンバーカードの所持等を確認

傷病者等にマイナンバーカードの所持、マイナ保険証利用登録の有無を確認



② 本人確認

目視による確認

③ 本人同意

□ 頭同意 or 意識不明等、同意取得困難時に限り同意不要

④ オンラインにアクセスし情報閲覧

救急隊員が搬送先医療機関の選定に関する情報を閲覧

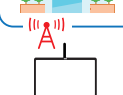
オンライン資格確認等システム



薬剤情報

診療情報

特定検診情報



閲覧用端末

スムーズな搬送先、医療機関の選定

※マイナ保険証の不所持または本人不同意の場合は、通常通りの救急業務を行います

冬のヒートショックに注意！

ヒートショックは、周囲の急激な温度の変化により、血圧が上下に大きく変動することなどが原因で起こります。浴室や脱衣所を暖めたり、飲酒後の入浴は避けるなどヒートショックを予防し、入浴する前に家族に一声かけ、様子を気にかけてもらいましょう。

医療機関で2月にがん検診が受診できます



今年度、総合健診(がん検診)を受診できなかった方を対象に、県内(福島市・郡山市・いわき市)の医療機関で2月にがん検診が受診できます。受診を希望される方は、お早めにお申し込みください。

なお、県内で一般健診を受診できなかった方は、県立医大から県民健康調査の受診案内が送付されますので、そちらで受診することができます。

■医療機関および実施期間

(実施期間は令和8年2月の1か月間)

地 区	受診可能医療機関
福島市	福島市医師会指定の医療機関
郡山市	郡山医師会指定の医療機関
いわき市	いわき市医師会指定の医療機関

※検診を受診できなかった方で、この地区以外での受診を希望する方は、健康保険課にご相談ください。

■検診内容(対象年齢は令和8年3月31日時点)

検査名	検査内容	対象年齢※
胃がん検診	バリウム検査または内視鏡検査(選択制)	20歳以上
肺がん検診	胸部レントゲン、喀痰検査	40歳以上
大腸がん検診	便潜血反応検査(検便検査)	20歳以上
乳がん検診	視触診、マンモグラフィ検査 (40歳代2方向、50歳以上1方向)	40歳以上の 偶数年齢の女性
子宮頸がん検診	視診、内診、子宮頸部の細胞診	20歳以上の女性

■申込方法及び受診までの流れ



不動産利活用、地域コミュニティをサポート！ 特産品「帰忘郷」販売中！

おおくままちづくり公社の最新情報はこちら▶



●不動産利活用登録募集 ● okuma store (EC サイト)

●復興支援員募集中！

プレイヤーとして町づくりに参加し、課題に挑戦することを楽しめる方のご応募をお待ちしております。詳細はQRコードよりご確認いただきご応募ください。

問 おおくままちづくり公社 ☎ 0240(23)7101 (平日午前9時～午後5時)

教えて すこやかライフ

通いの場のご紹介

大熊町の「通いの場」は
こちらから▶



「もしものこと」を考えたことがありますか？
心の余裕のある時に、じっくりと考える時間を持ち、そして、あなたの考えを大切な人に伝えてみませんか？

介護のギモン - ちょっと詳しく！緊急通報システム事業 -

◎緊急通報システム事業とは？

ひとり暮らしの高齢者および重度身体障害者等に対し、緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図ることを目的とする事業です。

◎対象者

- (1) おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者および寝たきり高齢者またはこれに準ずると町長が認めた者を抱える高齢者のみの世帯
- (2) ひとり暮らしの重度身体障害者等

◎事業実施範囲 福島県内

◎主なサービス内容(駆けつけ範囲によって、サービス提供主体や設置機器が変わります)

 主に大熊町内



緊急通報装置



ペンダント



主に大熊町外



携帯型
通報装置



ペンダント(左)
緊急通報装置(右)

病気やケガなど緊急時に通報ボタンを押すことで、24 時間 365 日対応します。また、首かけの「ペンダント」からの通報もできるほか、見守りセンサーなども設置します。

※写真はイメージです

お元氣コール

オペレーターが、定期的に(週 1 回程度)発信をし、安否の確認等を行います。安否が確認できない場合、緊急通報協力員等へ連絡し、必要に応じて現地へ駆け付けます。体調が悪いとき、緊急ボタンを押すと救急車要請などができます。



◎緊急通報協力員の確保が必要です。(次の 3 つの条件を満たす方、最大 3 名まで登録可)

- ・緊急通報先からの出向要請に基づく利用者の状況確認ができる方
- ・上記の確認結果に対応した救護活動および関係機関(役場など)等への連絡ができる方
- ・その他本事業の目的を達成するために必要な活動ができる方

利用に必要な手続き方法など、詳細は担当課にご相談ください。

問福祉課 介護保険係 ☎ 0240 (23) 7226

あなたの健康はみんなの幸せ 「健診結果説明会」 ～健診は受けた後が大切です～



10年後も毎日楽しく暮らすために、「健診結果説明会」を利用して、今からできることを見つけてみませんか？遅すぎることはありません。

検査値が示す意味や、BMI・血圧・血糖・喫煙等が身体に及ぼす影響がわかります。また、生活パターンを振り返り、明日からできる生活改善の計画が立てられます！

会 場	日 程	実施時間	問い合わせ先
保健センター	12月18日(木)	午前10時～正午	健康保険課 保健衛生係 ☎0240-23-7419
	12月19日(金)	午後1時30分～3時30分	
いわき出張所	1月21日(水)	午前10時～正午 午後1時30分～3時30分	いわき出張所 ☎0246-36-5671
	1月22日(木)		
	1月23日(金)		
中通り連絡事務所	1月28日(水)	午前10時～正午	中通り連絡事務所 ☎024-983-0686
	1月29日(木)	午後1時～3時	
会津若松出張所	1月30日(金)	午前10時～正午 午後1時30分～3時30分	会津若松出張所 ☎0242-23-4121

※要予約：各日程の前日までにお申し込みください。(定員あり)



母子健康手帳交付希望の皆さまへご妊娠おめでとうございます



大熊町こども家庭センター**おおくまっこ**は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援のため母子健康手帳の交付時に、保健師等の専門職が妊婦さんの体調や心配事のお話をうかがいます。

母子健康手帳交付希望の方は日程調整をしますので本庁舎・各出張所にご連絡ください。



子育て支援アプリ
「すくすく♡おおくまっこby母子モ」





柏崎 佑哉
(公認心理師)



松永 妃都美
(保健師)



折田 真紀子
(保健師)

教えて おおちゃん 放射性物質



何かと疑問の多い放射性物質について、長崎大学の専門家の皆さんが解説します。

私たち長崎大学は、大熊町での復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

先週のコラムにおいて、大熊町では一般的な食品中の基準値(1kgあたり100ベクレル(Bq/kg))を超える食品が一定の割合で検出されていましたが、100Bqという基準は安全と危険を分ける「しきい値」ではありません。より重要なことは、摂取した放射性物質の量によって人体にどの程度の影響があるかということです。今回は、大熊町で検査された食品からの被ばく線量について説明します。

大熊町で検査された野菜の放射性セシウムの中央値は19Bq/kg、果実は30Bq/kg、穀物は18Bq/kg、いも類は20Bq/kgといずれも基準値である100Bq/kgを大きく下回っていました。それらを1年間毎日食べたと仮定した場合^{※1}、各食品群の被ばく量は、野菜が0.024ミリシーベルト(mSv)、果実が0.014mSv、穀物が0.035mSv、いも類が0.005mSvでこれらを合計すると0.078mSvでした。また食品の摂取量は年齢によっても異なることから、年齢群別で算出したところ、20歳未満の年代は0.069mSv、20～59歳で0.071mSv、60歳以上で0.086mSvでした。つまり、どの年齢群においても、1年間で食品から自然に被ばくする線量(約1mSv)の10分の1程度ということになります。不要な被ばくを避けるべきであることは言うまでもありませんが、大熊町の食品への不安を払拭する情報の参考となりましたら幸いです。

表 食品群の放射性セシウムの中央値と一日当たりの平均摂取量

	野菜	果実	穀物	いも類
放射能中央値 ^{※2} : ベクレル /kg	19.04	29.65	17.88	20.54
一日当たり摂取量: グラム	269.8	96.4	410.7	50.2

※2 不検出(N.D)を除く

(単位: ミリシーベルト)

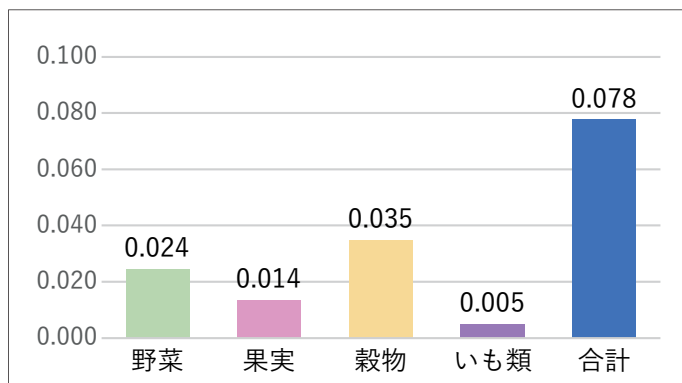


図1 食品群別の内部被ばく線量推定

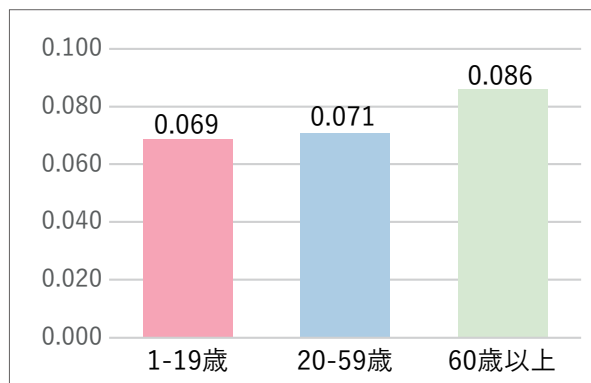


図2 年齢群別の内部被ばく線量推定

※1 厚生労働省『令和5年度国民健康影響調査報告書』による一日当たりの平均摂取量から算出

長崎大学は、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場健康保険課 (☎ 0240-23-7419) を通じてお気軽にお問い合わせください。

福島地方環境事務所からのお知らせ

● 特定帰還居住区域での被災家屋等の解体申請

環境省は、特定帰還居住区域(下野上1区、野上1区・2区、熊1区～3区、熊川区、町区、夫沢2区・3区の各一部)およびその周辺に位置する家屋等の解体の申請を受け付けています。解体を希望される場合は、解体申請受付窓口にご相談ください。※所有建物の住所が区域範囲内か確認したい方は解体申請受付窓口までお問い合わせください。
※原則、環境省が除染した家屋等は解体の対象にはなりません。解体の意向がある場合は、解体前に家屋等の除染を希望しないでください。

※特定復興再生拠点区域の解体申請受付は、令和5年6月30日をもって締め切りました。

■解体申請受付窓口(環境省業務委託業者)
高島テクノロジーセンター
(いわき市好間町上好間山下6-1)
☎ 0120-700-908
(平日午前8時30分～午後5時15分)

● 特定帰還居住区域での個別回収受付

環境省は、特定帰還居住区域(下野上1区、野上1区・2区、熊1区～3区、熊川区、町区、夫沢2区・3区の各一部)に住居がある方を対象に、粗大ごみ等の個別回収の申し込みを受け付けています。また、東京電力が住居内の片付け、ごみサポート等も実施しています。希望される場合は、お申し込みください。
なお、粗大ごみ等の個別回収の際にフレコンバックが必要となる場合は、お申し込みの際にお知らせください。
※特定復興再生拠点区域の個別回収受付は、令和5年6月30日をもって締め切りました。

■申し込み窓口
大熊町片付けごみサポートセンター
(環境省業務委託業者)
☎ 0120-50-8832
(平日午前9時～午後5時)
問 福島地方環境事務所 浜通り南支所
(廃棄物担当)
☎ 0240-25-8993
(平日午前8時30分～午後5時15分)

● モニタリングのご案内

特定復興再生拠点区域で帰還を検討されている方で、敷地内の放射線量が気になる方は、線量測定を行いますのでご連絡ください。

問 福島地方環境事務所 浜通り南支所(除染担当)
☎ 0240-25-8993
(平日午前8時30分～午後5時15分)

● 除染作業事前調査の実施について

環境省は、特定復興再生拠点区域内と特定帰還居住区域内の除染工事を進めています。除染等工事に必要となる事前調査等業務を行いますので、対象となる方にご案内を送付します。所有する敷地内へ調査立ち入りさせていただくこと、ご理解とご協力をお願いします。(本調査業務の際に建物内へ立ち入ることはありません。敷地内の調査を望まれない方は、ご連絡ください。)

問 日本エヌ・ユー・エス株式会社
(環境省業務受託業者)
☎ 0120(395)080
(平日午前8時30分～午後5時15分)

● 中間貯蔵施設の見学会を開催しています

中間貯蔵事業情報センターは、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。参加を希望される方は、お申し込みください。
時 12月19日(金)・20日(土)
※ 12月26日(金)～令和8年1月4日(日)までの期間は、輸送を休止いたします。

■申し込み窓口
中間貯蔵事業情報センター
☎ 0240-25-8377
問 福島地方環境事務所 中間貯蔵部中間貯蔵総括課
☎ 024-563-1293

大和久区総会

6月8日に、いわき湯本温泉「新つた」で、令和7年度大和久区総会と懇談会を開催しました。

コロナ禍を経て、昨年6月に続いての開催となりましたが、52人が参加し、再会の喜びを分かち合いました。



大熊町女性会



大熊町女性会は8月19日に、夏休み中の学び舎ゆめの森の子どもたちと「新聞紙たいむバック」作りで交流しました。

女性会からは5人が参加しました。私たちが準備をしていると4、5人の子どもたちが先生と一緒に見に来て「つくりたい」「かわいい」「できるかな」と言いながら手に持って見たりして帰りました。その後20人くらいのお友だちが参加してくれました。

たいむバックの表紙は3種類用意したので好きな絵柄を一つ選んで、それぞれの椅子に座ったところで女性会員が「このところにボンドをつけてね」などと、声をかけながら作り方を教えていきました。床下から吹いてくる空調の風に当ててボンドを乾かしながら友達とおしゃべりしたり、続きをやるために戻ってきたりして、のびのびと振る舞う子どもたちの姿を見ることが出来ました。

ボンド付けに苦戦していた子どもたちも、形ができて“持ち手”を付けると嬉しそうに持ち上げて見せてくれました。

完成したバックを持ってお友達数人と楽しそうに記念写真に納まりました。学び舎ゆめの森の子どもたちと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

栃木おおくまの会・スイートメロン

10月1日と2日に、栃木おおくまの会とスイートめろんが鬼怒川温泉で交流会を開催。14年ぶりの再会や初参加者も笑顔で打ち解け、歌やおしゃべりに花を咲かせました。

栃木県ではスペースXで優雅な旅を楽しみ、帰路はワールドスクウェアで世界を巡るひととき。別れ際に次回茨城での再会を約束し、コミュニティとして最高の時間を心に刻みました。



町民揭示板

各地のコミュニティ団体や行政区、
同級会など、町民の皆さまからのお便りです。

おおくまいわき友の会



9月29日に会津方面にフルーツ狩りバスツアーに出かけました。立木観音堂を見学した後、リンゴ、プルーン、ブドウをお腹いっぱい頬張り、わっぱめしも食べて満腹旅になりました！バスの中にもぎやかで、素敵な1日を過ごしました。

ふるさとおおくま会

9月24日に草野公民館で「みんなで健康づくり&食事会」を開催しました。講師に佐藤勝夫氏をお招きし、毎日の中でできる簡単な体操を教えてくださいました。終始、笑い声が絶えない楽しい時間を過ごしました！次回も皆さんとお会いできることを楽しみにしています！



おおくま中通り会



10月9日にいわき市小名浜方面へバスツアーに出かけました。アクアマリンふくしまで癒された後、道の駅いわき・ら・ら・ミュウで昼食やお買い物を楽しみました。また、竹ちくわ作り体験も行い、わいわいにぎやかに1日を終えました。

史跡 熊町一里塚について

熊町一里塚は国道6号線沿いの東側、熊字熊町に位置します。

一里塚は徳川家康が日本橋を基点とし、36町を一里(約4km)と定め、一里毎に里程標*として全国主要街道に築かせたものです。相馬中村藩の歴代藩主の記録をまとめている『相馬藩世紀』によると慶長9年(1604)5月下旬に相馬中村藩三郡(宇多郡・行方郡・標葉郡)に一里塚を築いたとあり、熊町一里塚もこの頃の築造である可能性が高いとみられます。

旧浜街道(岩城相馬街道)の新山宿から熊川宿に至る道中の北から南へ下る緩やかな斜面は、国見坂(もしくは九人坂)と呼ばれていました。現在は雑木林となっていますが道の面影が現在も確認でき、坂を下り熊川の手前まで残っています。この坂道の中腹に道跡を挟んだ二対の土盛りがあります。これが熊町一里塚です。

この場所は令和27年(2045)まで中間貯蔵施設区域内として、自由な立入は制限されています。そのため、現在は十分な整備はできておらず、坂道に所在するためにわずかに法面の崩壊もみられています。特殊な条件下にあることから、今後もし残り続けるよう特別な検討を進めなくてはならない史跡です。

教育委員会は、12月2日、9日、16日にこの熊町一里塚を含めた熊町地区をテーマとした「大熊学講座」を開講します。詳細はQRコードからご覧ください。

もしご興味がありましたら、ぜひご参加ください。



▲熊町一里塚



▲熊町一里塚 現況



▲「大熊学講座」
詳細はこちら

*里程標…道路のわきに建てて、ある始点からの距離を示す標識

各 種 問 い 合 わ せ 先

(記載のない市外局番は0240です)

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局
☎0120-978-820

医療・福祉

町診療所
☎23-7170
ふたば医療センター付属病院
☎23-5090
町社会福祉協議会
☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森
☎23-4462
義務教育学校 学び舎ゆめの森
☎23-5341

商工・観光・交流

町観光協会
☎23-7101
町インキュベーションセンター
☎23-7721
町商工会
☎23-7380
交流施設 linkる大熊
☎23-7676
宿泊温浴施設ほっと大熊
☎23-5767
CREVAおおくま
☎41-9959
クマSUNテラス
☎41-9948

移住・定住・帰還支援

町移住定住支援センター
☎23-7103
おおくままちづくり公社
☎23-7101

郵便

大熊郵便局
☎32-2222

警察・消防

双葉警察署
☎22-2121 (緊急通報 110)
富岡消防署
☎22-2119 (緊急通報 119)
災害情報専用テレホンサービス
☎26-0366

電気

東北電力コールセンター
☎0120-066-774

ガス

福島県 LP ガス協会 相双支部
☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団
☎25-5323
(下水道は町役場復興事業課)

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル
☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合
南部衛生センター
☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口
☎0120-027-582
一時立ち入りコールセンター
☎0120-220-788



こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住 所
平 本 瑛 慎	拓 登・理 紗	新 町



ご結婚おめでとう

花むこ	住 所	花よめ	住 所
佐久間 渉 伍	福 島 市	鬼 頭 朋 加	南 平



おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住 所
高 野 守 哉	90 歳	清 水
関 根 和 郎	98 歳	大 野
菊 池 ヤスヨ	100 歳	旭 台
吉 田 ヒ サ	78 歳	熊 町
松 本 咲 子	93 歳	古 舘
吉 田 信 一	100 歳	八 坂
松 本 三 男	76 歳	東大和久
紺 野 修	82 歳	東 台
高 松 トヨ子	102 歳	長 者 原

令和7年10月届出

広報はホームページでも ご覧いただけます。

広報おくまは町ホームページでも公開しています。
パソコンやスマートフォンからも町の情報をご覧いただけますのでぜひご活用ください。

大熊町 HP



Facebook



Instagram



問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

編集後記

ふるさとまつりで、「同時にフルーツをすくった人数の数」のギネス記録を達成しました。町でギネス記録を達成したのは初めての快挙です。ちなみに現在有効なギネス記録は世界で約4万件あるそうです。

強風の影響で規模を縮小したの開催となったふるさとまつりでしたが、今年も開催されてよかったです。

今年も残すところわずかとなりました。皆さま、どうぞお健やかに過ごしてください。(三瓶)

人のうごき

令和7年10月末現在



住民基本台帳

人 口 9,833人

世帯数 4,172世帯

町内居住者数

人 口 1,511人

(うち帰還者325人)

居住地ごとの状況は町ホームページをご覧ください。



町内の空間線量

(令和7年11月15日午前9時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポストの数値をお知らせします。

表は避難指示が解除された区域に設置している機器を抜粋して掲載しています。

町全体のデータは、町環境測定サイネージ、町ホームページからご確認ください。

測定地点名		空間放射線量 (μ Sv/h)
中屋敷集会施設		0.10
大熊町役場		0.08
福島給食センター		0.14
やすらぎ霊園		0.07
野上二区地区集会所		0.52 *
インキュベーションセンター (旧大野小学校)		0.13
大熊町保健センター		0.29
大野駅		0.12
大熊町文化センター		0.26
旭台公園		0.31
学び舎ゆめの森		0.12
大和久区地区集会所		0.35 *
町区集落センター		0.47
参 考	いわき市役所	0.06
	郡山市役所	0.07
	会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

※機器調整中のため直近の計測データを記載しています (令和7年6月10日午後3時時点)



師走
December

おおくまカレンダー

今月の紙面情報をまとめました。
丸数字（①など）は、
詳しい内容を掲載したページ番号です。

町内のゴミ回収日



▲分別方法は
こちらから

南部衛生センターごみ受入日 午前8:30～11:30

日	月	火	水	木	金	土
	1 ◎生活応援物資 配送開始⑭	2	3	4 ●特設人権相談 所開設⑮	5	6
7 	8	9	10 ◎いきいき百彩 クラブ★⑰	11	12	13
14 ◎運動公園説明 会⑫ ■おおがわら会 ★⑬ ■おおくま気楽 会★⑭	15	16 	17 ◎ノルディック ウォーキング ★⑰	18 ■おおくまいわ き友の会★⑬ ♣健診結果説明 会★⑳	19	20 ■大野南コミュ ニティ会⑭
21 ♪おおくま駅伝 2025 	22	23 ●子育てひろば ★⑱ 	24	25 ♣保健センター 開放日(クリ スマスお楽し み企画) ⑲	26	27 ■熊川区パーク ゴルフ★⑭
28 	29	30	31 	【実施団体】 ♪主なイベント ◎その他 ■各コミュニティ団体 ♣保健センター ●出張所・連絡事務所 ●おおくまコミュニティづくり実行委員会 (★マークがついているイベントなどは 予約が必要です)		

駅西交流エリア



大川原交流ゾーン



OIC



まちづくり公社



社会福祉協議会

